

尚、通年下記行事を実施しております。是非御参加下さい。

◇婦人同朋会◇ 午後1時半より 9月18日 10月16日(10時半おみがき)
1月15日(互礼会) 3月19日



正信偈を中心としたお勤めからはじまる聞法会です。勤行稽古、座談会、報恩講への参加を御縁とした交流の場でもあります。今年には三方の新会員を迎へにぎやかにっております。皆様の御参加を願っております。

また、寺院ホームページ内「婦人会会員へのお知らせ・伝達事項」のページにて随時お知らせを掲載しております。是非ご覧下さい。

寺院ホームページは「だいおうじ 千種区」で検索して下さい。『真宗大谷派（浄土真宗）寺院名古屋/大應寺（大応寺）だいおうじ名古屋市…』の見出しで一番目に検索されます。

◇永代経法要◇ 4月25日

◇納骨者追弔会◇ 7月25日

◇合同初盆法会◇ 8月お盆

◇俳句会◇ 毎月7日

◇定例～お参りの日・同朋の集い～◇ 随時



《一口法話》



八月はお盆、九月はお彼岸、この時期は何かとお墓や納骨堂にお参りに行く機会が多い時です。さて私たちはご先祖のご遺骨を前に何を思いお参りするのでしょうか？

とかく先祖を供養するためと答えてしまいがちですが、実は「先祖供養」という概念は浄土真宗にはありません。どんなに手を合わせご先祖を供養しようと試みても、私達凡人にご先祖を供養するほどの特別な能力があるのでしょうか？そうしたおこがましい思いのお参りは、**先祖供養しているという自己満足にしかすぎません。**

では何のためにお参りをすればよいのでしょうか？

大切なことは、お参りをする事によってご先祖から何を与えられ、自らがどのようにいただいていくかということなのです。お墓や納骨堂でお参りをするのは、**実は先祖のためにしてあげるのではなく、自らのために行うべきことなのです。**

ご先祖からお参りという尊い時間を与えられ、亡き人を偲ぶ事で自らの生き方に目覚め、しっかりと歩むべき方向を見つけていくこと。そうした積極的なお参りこそが真宗門徒のあるべき姿であり、ご先祖が最も望まれていることなのです。

与えられた御仏縁と命に感謝しつつ、力強く生きる姿をご先祖に見せていく事こそが何よりも一番の先祖供養になるとは思いませんか。

先祖を敬い供養したいと願う事は人としてとても大切なことです。ここが少々誤解されがちな所ですが、浄土真宗では先祖供養そのものを否定しているのではなく、私達の先祖供養に対するあり方を強く否定し正しているのです。 合掌 - 2 -